

[様式 1]

令和 5 年度 三好市立学校評価報告書

学校名(櫛生小学校)

1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営方針を全職員で共有し、協働することができた。 ・教職員一人一人が複数校務を担っているため、業務時間の短縮が困難だった。 ・教職員のメンタルヘルス対策として、講師による研修を実施したことが効果的であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の子供たちに関わる姿勢や学校の様々な取組が、子供たちの成長に表れていた。 ・祖谷の文化など、子供たちが生まれ育った地域のことを学習するのはよいことだと思う。 ・観光シーズンには交通量が多くなる地域であるため、交通安全教育はしっかりとしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務の精選等を図ることを通して、働き方改革を推進する。 ・学校運営協議会との協働体制を工夫する。 ・学校行事内容を工夫することで、教職員の負担減少を図る。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと西祖谷の文化に親しむ体験活動を教育計画に位置付け実践することが、地域を大切に作る児童の豊かな心情の育成につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・祖谷ならではの特色ある活動は、子供たちにとってすばらしい経験になったと思う。この経験が、ふるさと祖谷を愛することにつながってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態を把握し、個別のニーズに応じたきめ細やかな指導を充実させることに努め、学力向上につなげる。
③ 主要な教育活動に関する評価	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・保健便りによる呼びかけや、アウトメディア習慣を設定するなど、家庭と連携することにより、児童の基本的な生活習慣の定着を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が少ないので、交流学习には意義がある。今後も続けていくのが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流学习においては、単なる交流とならないよう、目的をはっきりとさせた上で、内容の工夫改善を図る。
④ 保護者や地域との連携等に関する評価	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣中学校や小学校との対面及びオンライン交流をすることにより、児童の主体性や自己肯定感が向上した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人に確かな学力を定着させるために、授業研究を通して、ICT機器の効果的な活用方法をさらに追求する。
⑤ その他、上記以外に関する評価 (ICT機器の活用)	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの効果的な活用に関する研修が、教職員の指導力向上につながった。 		